

授業改善推進プラン〈体育科〉

体育科における昨年度の授業改善推進プランの検証

成 果	課 題
<p>○運動に対する意欲が高く、どの児童も楽しそうに体を動かしている。</p> <p>○外遊びをする児童が多く、校庭や屋上でのびのびと体を動かす姿が見られた。</p> <p>○5月実施の馬込チャレンジでは、昨年度から体力テストに向けソフトボール投げの代替項目を取り入れたことで自分の体力や課題、実施の仕方を知ることができた。</p> <p>○馬込チャレンジで実施した鉄棒やのぼり棒・雲梯などに休み時間も積極的に取り組む姿が見られた。</p> <p>○水泳の授業ではルールを守りながら、自分の泳ぎを思い出し、のびのびと水に親しもうとする姿が見られた。</p> <p>○楽しく技能が定着できるようにミニゲームやミニ競争などを取り入れることができた。</p>	<p>●スポーツの経験や関心に差が見られ、競技のルールや規則についての知識がない児童が多い。</p> <p>●意欲は高いが、準備運動や用具の準備、運動のルール理解に時間が掛かり、運動量の確保が課題となった。</p> <p>●いろいろな動きや跳び箱運動、ハードル走などの新しい運動に対して恐怖感があり、挑戦できない児童が一部いる。また、入学前までの運動経験の差が大きい。</p> <p>●児童の運動能力の差が大きい。</p> <p>●校庭の改修工事のため、外で遊ぶことができる環境が限られてしまっている。</p> <p>●令和2年度からコロナ禍の影響で水泳指導に十分な時間を確保できず、泳力に課題が残った。水に顔をつけることができない児童も多い。</p>

〈体育科の授業改善策〉

<p>＜知識及び技能＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の「質」を上げていくために、動きのポイントを教師が例示する。ボードやICTの活用によって、オリエンテーションで「正しい動きのイメージ」の共有を図るなどしていく。 ・スモールステップで学習過程を計画し、個に応じた指導をする。 ・楽しく技能が定着できるようにミニゲームやミニ競争などを取り入れる。 ・見て、考えて、教え合う活動を取り入れ、「課題把握、課題解決のための学習、振り返り」の一貫した指導ができるようにする。 ・「する、みる、支える、知る」の4つの柱の中で、「みる、知る」の部分を増やすため、参考動画などを見せるようにする。 <p>＜思考力、判断力、表現力等＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と教え合ったり協力したりする活動を授業の中で取り入れる。 ・学習カードを活用し、より良い動きやチームの作戦について考えられるようにする。 ・学習感想を書く際には「自分や友達の動き」や「作戦・工夫」など、授業で取り組んだ内容について考えさせるようにする。 ・チーム学習を取り入れ、ポイントなどを伝え合い、児童同士で良い動きの習得をしやすいようにする。 ・動きを動画で撮影し、動きのポイントなどを話し合う機会をつくる。 <p>＜学びに向かう力・人間性等＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業規律を徹底し、準備・片付けを素早く行わせることで、運動量の確保をする。 ・導入の時間に安全面の説明を行い、児童の安全面への意識を高める。 ・毎時間の授業の「めあて」を明確にし、運動に積極的に取り組ませる。 ・学習カードの活用や授業の振り返りを重視し、自分の目標を立てたり課題をつかませたりして、学習できるような授業展開にする。 ・休み時間や家庭学習の際に、運動に関わる時間や運動の楽しさを知る時間を増やし、体育の学習を前向きに取り組めるように工夫をする。

<健康・安全>

- ・心身の健康の保持増進を図るため、薬物乱用教室等の健康教育、保健指導、食育の充実を図る。
- ・学校保健委員会を通じて、本校児童の健康・安全に関する課題を共通理解し、家庭との連携も図りながら、全校で継続して指導していく。
- ・早寝、早起き、朝ごはん月間のチャレンジカードの取り組み後、結果を集約することで、本校児童の傾向を知り、学校だけではなく、家庭にも協力を得て、規則正しい生活を送ることができるよう指導していく。

<体力の向上>

- ・年間指導計画を見直し、年間を通してバランスよく体力の向上を図る。
- ・準備運動の時に多様な運動に取り組みせ、運動感覚を身に付けさせるようにする。
- ・一人一人の運動量の確保をするとともに、「運動の質」についても教師が意識して指導する。
- ・体育の学習で取り組んだ内容を休み時間などの遊びの中で実践できるように、環境を整える。
- ・体育の授業で行う内容によってはボール投げ運動や鬼ごっこなどの巧みな動きを高める運動を取り入れ、寒い季節には持久力を高める運動を取り入れて体力の向上を図る。
(例) 馬込チャレンジ、なわとび週間、マラソン週間。
- ・運動をあまり行わない児童には、体育的活動や休み時間の遊びをきっかけにして、様々な人々と協働し自らの生き方を育んでいくことの重要性などを示す。
(例) 運動会練習、いきいきタイム
- ・授業の準備運動後に、補助運動や感覚づくりに取り組む時間の充実を図る。